

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：東北地方整備局都市・住宅整備課  
 担当課長名：田中政幸

事業名	白銀市川環状線（中居林）	事業区分	街路	事業主体	青森県
起終点	自：青森県八戸市田向 至：青森県八戸市中居林	延長			0.6 km

## 事業概要

白銀市川環状線は重要港湾八戸港の東部から国道45号などの主要な国道・県道と交わり、北部の臨海工業地帯に至る延長約2.1kmの外環状線である。また、新幹線駅、東北縦貫自動車道八戸IC等へのアクセス道路でもあり重要な路線である。本工区は区画整理事業境界から県道交差区間の延長0.6kmの4車線道路である。

## 事業の目的、必要性

市内の慢性的な交通混雑の緩和、各地域への連絡強化、主要交通拠点（新幹線駅・IC）や公共施設（市民病院）へのアクセスなど、都市交通のネットワークの円滑化及び広域交通に対応した道路網の形成が図られ、地域活動の発展に大きく寄与するものである。

全体事業費	35億円		計画交通量	17,700台/日
費用便益分析結果	B/C	4.6	総費用	27億円
			（事業費：26億円）	（総便益：125億円）
			（維持管理費：1億円）	（走行時間短縮便益：120億円）
				（走行費用減少便益：2億円）
				（交通事故減少便益：3億円）
			基準年	平成15年

## 事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる）
- ・都市の再生（広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路の形成ができる）
- ・個性ある地域の形成（市町村合併支援道路に位置づけされている）
- ・災害への備え（地域防災計画で緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけされている）
- ・他のプロジェクトとの関係（県道改良事業）

## 関係する地方公共団体等の意見

白銀市川環状線は地域交流の促進、交通混雑の緩和さらに重要施設へのアクセス向上に重要な役割を果たすことが期待され、市町村合併支援道路として、早期完成に向け関連事業と一体となった整備を進めている。

## 事業概要図



